

1 はじめに

本校の特別活動の重点目標は、「①豊かな人間関係を基盤として、望ましい集団活動を育てる。②心身の調和のとれた発達と、主体的な活動を通して、ひとりひとりの個性の伸長を図る。③集団の一員としての自覚を深め、規律と責任をもって、自発的、自治的に活動できる児童を育てる。」の3つである。

そこで、まずは「主体的な態度を育てる」ことをテーマとし、児童会活動を中心に実践することとした。

2 実践例

(1) 委員会活動

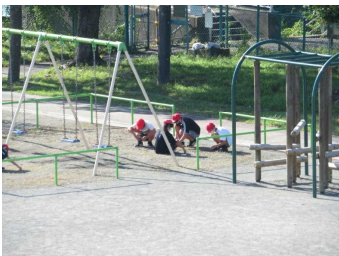
ア 運営委員会

例年の運営委員会の主な活動は、「1年生を迎える会」、「浜の焚き上げ祭」など学校行事や地域行事の計画・運営であった。決められてる行事を運営していくだけでは、主体的な態度は育ちにくいと考え、運営委員を中心に、その時の学校の状況を観察・分析して課題を見つけ、その課題が少しでも改善するように「〇〇プロジェクト」と位置づけ、企画・運営をすることとした。

今年度は「あいさつプロジェクト」、「グランドキラキラプロジェクト」、「けが0プロジェクト」、「みんなで遊ぼうプロジェクト」の4つを行った。

(ア) 「グランドキラキラプロジェクト」

夏休みが明け2学期が始まると、グランドの雑草がすくすくと育っていて、管理職や用務員が、暑い中草刈りをしていた。その姿を見た運営委員の児童から、自分たちが使っているグランドだから、全校児童で草むしりをすれば早く終わるとの提案があった。そこで、1週間を目安に各学級ごとに、朝の時間や休み時間、体育のはじめの時間等を使って、草むしりを呼びかけるスクールニュースを書いた。各学級ごと説明にまわり、草むしりを実施した。



3 成果と課題

他の委員会でも同様に自分たちで企画・運営したことで、気づく大切さ、考える大変さ、行動する達成感を味わうことができ、学校生活全般において主体的に取り組める児童が増えた。児童会活動を通して、豊かな心を育てる機会となり、今後も継続していきたい。